

## 「龍脈」を起こし、「昇り龍」になろう！



あけましておめでとうございます。

昨年は、ギリシャの経済破たんにはじまり、エジプトをはじめとするアラブの春、日本では3月の東日本大震災それに原発事故などまさに内憂外患の一年でした。

今年は辰年。辰には「ふるう・ととのう」の意味があるとか。暦学的には、方位は南東、時間は午前7時～9時、季節は3月だそうです。日当たりのよい南東、しかも早春の早い時刻、あらゆるものが奮い立つ季節。時期、大震災や原発の復興が進み、皆さんがそれぞれに「龍」に乗って上昇する年になりたいものです。

「龍脈を起こし、昇り龍となろう！」これは、みなさんにお送りした年賀状に書いた文言です。龍は、風水のシンボルで、気の流れを「龍脈」と言います。龍は十二支でただ一つ想像上の動物ですが、「昇り龍」という言葉もあるようにぐんぐんと運気が上昇するのです。

そう言えば私の尊敬する坂本龍馬も「龍」の文字がついています。塾生から坂本龍馬のリオウは「龍」か「竜」という質問がありました。私には「竜」は、二本足で立ちゴジラのように火を噴く西洋風イメージがあり、「龍」には蛇のように雲の間をニョロニョロと動き回る中国風イメージがあります。夙の文字も「竜」でなく「龍」の文字が見られます。

坂本龍馬の話に戻りますが、同時代の彼の日記や手紙などを見ると「良馬」と当て字にされていることもあり、龍馬自身も手紙の最後に「りよふ」とサインしていることもあるため、読みはりようまであることは間違いなさそうです。

「竜」は「龍」の古体字であることはハッキリしているのですが、龍馬自身は「竜」を使ったことはありません。「竜」は司馬遼太郎の『竜馬がゆく』で使われており、「竜」が常用漢字になったことなどから慣用化されているというわけです。

ともあれ、陽気が動き草木が成長し、地面を覆う様は「辰」。みなさんがニコニコ笑顔で、元気よく幸せいっばいになるように望んでいます。

最後に、もう一度「龍脈を起こし、昇り龍になろう！！」

### 中学教科書大改訂のワンポイント —各教科、ここが変わる—

教科書のページ数は1970年代から削減が続いてきました。しかしいよいよ2012年、中学校の教科書が大改訂されます。現在中学校で使用されている教科書と比べても約1.5倍近いページ数となります。中でも数学と理科は、今回の改定で重点的に強化する教科になっており、驚異的な増加率となっている。

今回は、ワンポイントで教科の変更点を示しました。

【国語】全学年とも300ページ越え

- 客観的・分析的読解力の重視  
読み物・ページ数の増加
- 古典・近代文学増加
- 常用漢字  
1.945字⇒2.136字

【数学】現行版と比べると33%アップ

- 中1・中3各学年35時間の増加⇒例題から難易度アップ
- 各ページの問題数 大幅に増加・入試レベル以上
- 計算力アップは絶対条件

【社会】

- 歴史 世界史の復活  
1/2 学年内指導⇒1・2・3 学年分割指導
- 地理  
「調べ地理」⇒ 日本地理&世界地理

【英語】学習内容の質的变化・難易度アップ

- 単語数 900⇒1,200語+α
- 授業時間 主要教科内最大増加  
1・2・3年総時間数315時間⇒420時間
- 会話文重視⇒文法・読解長文力の強化

【理科】現行版と比べると45%アップ

- 第1・第2分野上下巻から⇒学年別分冊へ
- 原子周期表など高校の学習内容も復活
- 教科書は各学年25～40ページ増



### 1月の高校入試土曜特別授業

14日・文系科目(英・国・社)

21日・理系科目(数・理)

28日・私立入試対策(英・国・数)

### 休業日・振替日

1/9 成人の日 休業⇒振替日 1/30(月)

31(火) 第5週目につき休業

### ◆講師研修

12/23に宝殿第二教室で講師研修会を開催。

各講師のスキルアップと2012年以降の中学校教科書について、主な改正点を検証し、次年度に生かしていこうと、3時間にわたり研修をしました。オブザーバーとして神戸の久保田学園の学園長の久保田先生も参加され、充実した講師研修に感動されていました。

尚、久保田先生は実際の授業も見たいと、1月中旬に来塾されます。

